

1 基本項目	事務事業名	交通安全対策事業				担当 部署	課名	環境安全課
	予算事業名	交通安全対策事業					係名	生活安全係
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1048
	事業期間	開始年度	昭和30年度	終了年度	当面継続		會計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち				款	総務費
	画	政策名	6 生命と財産を守る安全・安心な暮らしの確保				項	総務管理費
	根	施策名	14 日常生活の安全確保				目	交通対策費
	基本事業名	14-1 安全な交通環境の充実				アウトソーシング導入状況	導入済(業務委託)	
	根拠法令	なし				総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載	

2 事業概要	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 市民の交通安全意識の高揚を図る 交通安全意識啓発事業に努める団体(魚津市交通センター)に補助金を交付し、交通安全活動の推進を図る
	対象	市民、魚津市交通センター、魚津市内の富山県交通指導員と富山県交通安全アドバイザー
	手段(活動指標)	交通安全啓発活動(広報車での市内巡回・チラシ等による広報活動) 魚津市交通センターの活動助成、高齢者運転免許返納制度の実施(市民バス利用券、基本台帳カードの交付)
意図(成果指標)	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故件数の減少 交通安全意識の高揚 	

3 指標	指標名	単位	26年度		27年度			28年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標 成果指標	① 市民	人	44,490	43,555	44,490	41,724	93.8%	42,000
	② 交通指導員	人	21	21	21	20	95.2%	20
	③ 交通安全アドバイザー	人	47	47	47	46	97.9%	46
	① 人身事故の発生件数	件	150	148	140	125	89.3%	1,600
	② 65歳以上が第一当事者となった事故件数	件	35	47	35	32	91.4%	30
	③ 交通事故死者数	人	0	0	0	1		0

4 コスト情報	区分	単位	26年度		27年度			28年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	319,000	250,572	170,000	74,007	-70.5%	225,000
	② 委託料	円	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	0.0%	1,200,000
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円	3,900,000	3,900,000	3,900,000	3,900,000	0.0%	3,900,000
	⑤ その他	円	1,348,000	1,307,297	1,914,000	1,774,623	35.7%	
	支出合計(A)	円	6,767,000	6,657,869	7,184,000	6,948,630	4.4%	5,325,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円	242,000	199,000	245,000	206,000	3.5%	245,000
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円	22,000	22,297	22,000	22,291	0.0%	23,000
	⑤ 一般財源	円	6,503,000	6,436,572	6,917,000	6,720,339	4.4%	6,899,000
	収入合計	円	6,767,000	6,657,869	7,184,000	6,948,630	4.4%	7,167,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	4	4	4	4	0.0%	3
	② 年間所要時間	時間	600	540	540	540	0.0%	540
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	2,520,000	2,268,000	2,268,000	2,268,000	0.0%	2,268,000
	総費用(A+B)	円	9,287,000	8,925,869	9,452,000	9,216,630	3.3%	7,593,000

5 取組内容	平成27年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<<事務事業の内容>> 広報活動や交通安全啓発活動を実施(毎月1日・15日の交通安全県民の日及び春・夏・秋・年末の交通安全運動期間中) 交通センターの活動助成、交通安全教室、交通センターだよりの発行を交通センターに委託 高齢者運転免許返納制度の実施(H23新規 市民バス利用券、基本台帳カードの交付)	
	<<改善内容>> 高齢者運転免許返納制度については、制度の利用促進のため平成27年11月に、支援内容をバス回数券とタクシー金券の選択制にした。 今年度から交通安全車を環境にやさしい電気自動車に更新した。(リース契約)	

6 評価	評価の視点	H26評価	H27評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	
目的の妥当性				1 妥当である		
対象の妥当性				1 妥当である		
有効性	A	A	目標達成度	1 高い		
			類似事業の有無	1 なし		
			上位施策への貢献度	1 高い		
効率性	B	A	コスト効率	1 高い		
			実施主体の適正化	1 適正である		
			負担割合の適正化	1 適正である		
	1次評価(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要
	後(課題及び今後の方針)の評価結果	交通死亡事故ゼロ1000日を目指して運動に取り組んできたが、昨年末に941日目で死亡事故が発生した。今後も1000日を目指し引き続き活動していく必要がある。			評価結果	

1 基本項目	事務事業名	交通安全施設維持整備事業				担当部署	課名	環境安全課
	予算事業名	交通安全施設維持整備事業					係名	生活安全係
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1048
	事業期間	開始年度	昭和30年度頃	終了年度	当面継続		会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち				科目	総務費
	画	政策名	6 生命と財産を守る安全・安心な暮らしの確保				項目	総務管理費
	根拠法令	施策名	14 日常生活の安全確保				目	交通対策費
	基本事業名	14-1 安全な交通環境の充実				アウトソーシング導入状況	導入予定なし	
					総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載		

2 事業概要	事業概要	市民の生活道路における安心・安全の確保や交通事故防止等のため、交通安全施設（交通街路灯、道路反射鏡等）の維持管理をすること、及び市民の要望に基づき新設をすること。 交通街路灯、カーブミラー、ガードレール、区画線等の維持管理、新設
	対象	市民、交通安全施設
	手段（活動指標）	交通街路灯、カーブミラー、ガードレール、区画線等の維持管理及び新設
	意図（成果指標）	交通安全施設の適正な管理（修繕等を行い、施設を適正に管理すること、及び市民からの交通安全施設の設置に関する要望に答える。）交通事故の減少

3 指標	指標名	単位	26年度		27年度			28年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標 成果指標	① カーブミラー修繕基数	基	30	7	10	4	40.0%	10
	② カーブミラー新設基数	基	2	5	5	8	160.0%	5
	③							
	① 交通安全施設が適正に管理されている割合	%	100	100	100	100	100.0%	1,600
	② 交通事故発生件数	件	150	148	140	125	89.3%	120
	③							

4 コスト情報	区分	単位	26年度		27年度			28年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	①需用費	円	2,500,000	2,024,629	4,018,960	3,829,587	89.2%	3,500,000
	②委託料	円						
	③工事請負費	円	7,500,000	7,493,310	7,500,000	7,293,845	-2.7%	7,500,000
	④負担金補助及び交付金	円						
	⑤その他	円			41,040	41,040		
	支出合計（A）	円	10,000,000	9,517,939	11,560,000	11,164,472	17.3%	11,000,000
財源内訳	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他（使用料、雑入等）	円						
	⑤一般財源	円	10,000,000	9,517,939	11,560,000	11,164,472	17.3%	11,000,000
	収入合計	円	10,000,000	9,517,939	11,560,000	11,164,472	17.3%	11,000,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	②年間所要時間	時間	450	660	660	660	0.0%	660
	③人件費（②×@ 4,200円）（B）	円	1,890,000	2,772,000	2,772,000	2,772,000	0.0%	2,772,000
	総費用（A+B）	円	11,890,000	12,289,939	14,332,000	13,936,472	13.4%	13,772,000

5 取組内容	平成27年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<p>＜事務事業の内容＞ 交通街路灯、カーブミラー、ガードレール、区画線等の維持管理及び新設 環境安全課管理の交通街路灯については、老朽化した灯具の修繕・更新に併せ、LED照明化を行った。 今後、全灯LED化を目指していく。</p>	

6 評価	評価の視点	H26評価	H27評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である		
目的の妥当性				1 妥当である			
対象の妥当性				1 妥当である			
有効性	A	A	目標達成度	1 高い			
			類似事業の有無	1 なし			
			上位施策への貢献度	1 高い			
効率性	B	A	コスト効率	1 高い			
			実施主体の適正化	1 適正である			
			負担割合の適正化	1 適正である			
	1次評価（課長総括）	A	A	現行どおり管理運営を行うことが適当	2次評価	不要	
	後（課題及び今後の方針） 評価結果	道路交通の安全・安心を確保し、交通事故を防止することは市民の願いである。市民生活や児童・生徒の通学路など緊急性、公共性の高い箇所を中心に交通安全施設（交通街路灯、カーブミラー等）を順次整備していかなければならない。また、既設の施設の管理については、適切に行っていく必要がある。				評価結果	